

編集後記

「その男、世界遺産級」。姫路城までの道沿い、数メートルおきに、こう書かれたのぼりがはためいていた。現在放映中のテレビドラマの主人公である姫路ゆかりの武将が、ユネスコ世界遺産に登録された姫路城に劣らない偉大な存在であることを主張する姫路市の宣伝文句らしい。「世界遺産」のラベルの恩恵に、地元のみならず放送局もがやかろうとする「魂胆」がみえみえである。こうした文化遺産ブームに際して起きているさまざまな社会現象に注目したのが、新しく始まった「文化遺産おもてうら」のコーナーである。

本号の特集に見るように、過去の遺産を掘り出す発掘の周辺にも、今を生きる人間の「魂胆」が渦巻く。地元は雇用や観光収入に期待をするし、美術品として価値の高い出土品は盗人が狙う。親族間の遺産相続は骨肉相食む争いになりかねないが、発掘された文化遺産をめぐる複雑な利害関係が生まれる危険性があるのである。考古学者は考現学者でもなければならぬ。

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたように、食文化もまた文化遺産になり得る。特定の料理が民族や国、宗教の境を越えて広く愛される場合もあれば、味の「所有権」をめぐる対立が起こる場合もある。食の伝播と帰属意識の関係を考えるのが、もう一つの新コーナー「味の根っこ」である。レシピ付きなので、ぜひお試しあれ。
(山中由里子)

●表紙：モライ遺跡。ペルー南高地、クスコ県
高低差を利用した農業実験場といわれている。撮影・関雄二

次号の予告

特集 中国地域の文化 ——その多様性と伝統の展開

※みんぱくウィークエンド・サロンの情報は、13ページに移りました。

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために——会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、「月刊みんぱく」や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)

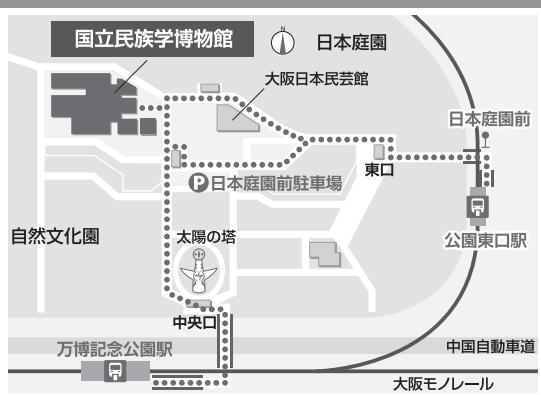
月刊みんぱく 2014年4月号

第38巻第4号通巻第439号 2014年4月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子(編集長) 櫻永真佐夫 庄司博史
菅瀬晶子 丹羽典生 野林厚志 丸川雄三
編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一欒
制作・協力 一般財団法人千里文化財団
印刷 日本写真印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>